



腕利きの若い整備士に
会社の将来を託すことができた。
事業承継は、大成功です。

—— 先代経営者 田中 京三さん

ずっと抱いていた独立の夢が、
事業承継のおかげで叶いました。

—— 現経営者 叶 祥平さん

STORY'S POINT

- ▶ 後継者不在に悩んでいたとき、チラシを見て事業引継ぎ支援センターに相談
- ▶ 3年後、独立を夢見る整備士を紹介され、1年をかけて事業承継が実現
- ▶ 地域の顧客が守られるとともに、先代経営者は廃業による損失を回避
- ▶ 現経営者は、事業承継によって創業費用を節減。経営者となる夢を実現した

事業承継に名乗り出たのは自動車ディーラーのトップ整備士

田中 事業承継について考え始めたのは4年前。娘がまったく違う業種に就職し、継いでくれそうな親族も従業員もいない。どうしようかと悩んでいたときに、妻が群馬県事業引継ぎ支援センターのチラシを見せてくれたのがきっかけです。

叶 第三者に承継してでも事業を続けたい理由はどこにあったのですか。

田中 お客様はメンテナンスや車検もうちで見ますよってことで安心して買ってくださいるわけですから、その信頼を裏切りたくなかったです。後継者を探していることを取引先にも伝えていたところ、あるディーラーの店長から「独立したいと言っている社員がいる」と話があったので、すぐに会わせてもらいたいとお願ひしたんです。

叶 会社でも「いずれは独立したい」と宣言していたので、店長の耳にも入っていたんですね(笑)。ちょうど独立に必要な設備を購入するための金額を調べていたのですが、何千万円もかかることがわかって…。その点設備が既に揃っている事業承継は、私にとって渡りに船でした。

田中 しかも店長いわくディーラーの整備士のなかでもトップの腕利き。早めに動いていたことで宝くじを引き当てることができましたね(笑)。

叶 独立を夢見てずっと腕を磨いてきたので、そう言っていると、ただけると、努力を認められてもらえるように嬉しかったです。

田中 一緒に働き始めてまだ少しですが、従業員も歓迎しているようで何よりです。

叶 みなさん良くしてくださいるので助かっています。ただ整備士としての経験はあるものの、営業は未経験だったので、田中さんのもとで学ぶことがまだまだ多そうだなと感じています。

田中 検査から販売、集金まで全部私がやっていましたからね。でも叶さんの「吸収しよう」という姿勢を見てみると、あと数年一緒に働けば十分だと私は見えています。それに現



叶さんがサービス技術コンクールで全国2位をとったときの盾

状でも、納車するときの説明なんて、私の倍以上は丁寧ですから(笑)。

叶 そのディーラーに勤務していた強みかもしれません。ただこれからは光和自動車興業の社長という立場で、地域の役に立っていかなくてはと思っています。

田中 私が大切にしてきたのは、お客様の依頼を簡単に断らないこと。忙しかったとしても、頑張ればどうにかなる状況なら、多少無理してでも対応してきました。

叶 その積み重ねが600件以上の顧客につながっているのだと思うと、引き継いだ「信頼」の大きさを実感して身が引き締まります。いずれは板金も含めて車のことならすべてうちで修理できる環境を整えたいですね。引き継がせていただいた事業を、私の代でさらに広げていくのが目標です。

田中 頼もしい限りです。事業を引き継ぐ人がいないと悩んでいる人に、私たちのようなケースがあることを知っていただきたいですね。



「後継ぎができて良かったねと声をかけられるんです」と奥様はうれしそうに語られます。

事業概要

「指定工場」として
地域のお客様をサポート

昭和36年に先代経営者である田中さんの父親が創業。販売と整備はもちろん、国に代わって車検を行うことができる「指定工場」でもあり、50年以上にわたってサービスを提供してきた、いわば安中市民の“クルマの駆け込み寺”。叶さんが引き継いでからは、前職場である自動車ディーラーからの受注も獲得。経営革新に取り組んでいる。

企業概要

所在地	群馬県安中市	従業員数	4人
創業	昭和36年	年商	54百万円
業種	自動車販売・整備業		

譲渡側

光和自動車興業有限公司
社長(当時)

田中 京三さん(当時72歳)

社長に就いた昭和54年以降、安定した経営を続けてきたが、60歳代後半を迎えた頃から体力の低下を感じ、事業承継を意識するようになった。

▼ 株式譲渡(第三者承継、令和元年8月)

譲受側

同業他社の勤務者

叶 祥平さん(当時28歳)

会社を引き継ぐまでは自動車ディーラーで整備士として勤務。もともと独立するのが夢で、経営者への道を模索するなか先代経営者である田中さんと出会った。



先代経営者に聞いた スムーズな事業承継の ポイントとは？

POINT/01

早めの動き出し

群馬県事業引継ぎ支援センターに最初に相談に行ってから、叶さんに引き継ぐまで、4年の月日がかかっています。ここからさらに一緒に働きながらノウハウを伝えていくわけですから、本当の意味で引退できるのはまだまだ先のこと。気力も体力もまだ元気なうちに事業承継に向けて動き出して良かったです。

POINT/02

事業引継ぎ支援センターの活用

叶さんと出会った段階で、群馬県事業引継ぎ支援センターが資産査定をしてくれていたの、その後の交渉がスムーズでした。今回、事業引継ぎ支援センターが果たしてくれた役割は非常に大きいと感じています。最近では事業承継で悩んでいる人に出会ったら、まずは事業引継ぎ支援センターに相談に行くことを勧めています。

POINT/03

先代経営者による承継後のサポート

一定の期間、経営面のサポートをすること、特にお客様の引継ぎをしっかり行うことが重要だと思います。ただし、サポートをする一方で、口を出しすぎないこと、基本的には現経営者である方を信頼してお任せすることも大切だと思います。先代経営者である自分はあくまでも、経営者を譲った立場であることを心がけるようにしています。



「お客様からの難しい質問でも、テキパキと叶さんが答えてくれる」と田中さんは語ります。

事業を引き継いだ後のご状況は？

田中:叶さんに社長を譲り、お客様に迷惑をかけなくて済むことがわかって、少し肩の荷が下りました。趣味だったラジコン飛行機に費やす時間も増え、天気が良い日には飛行機を飛ばしに行きたくてソワソワしています。ちなみに、娘はそんな父親の姿を見てか、飛行機のパイロットになってしまいました(笑)。



田中さんの趣味はラジコン飛行機。近隣の飛行場にてパチリ。

どのよう に従業員に伝えましたか？

田中:従業員に余計な期待や不安を抱かせず、すべてが固まっていた。みんなしたのは、日。ただそ度もうちから、うすうす言われて

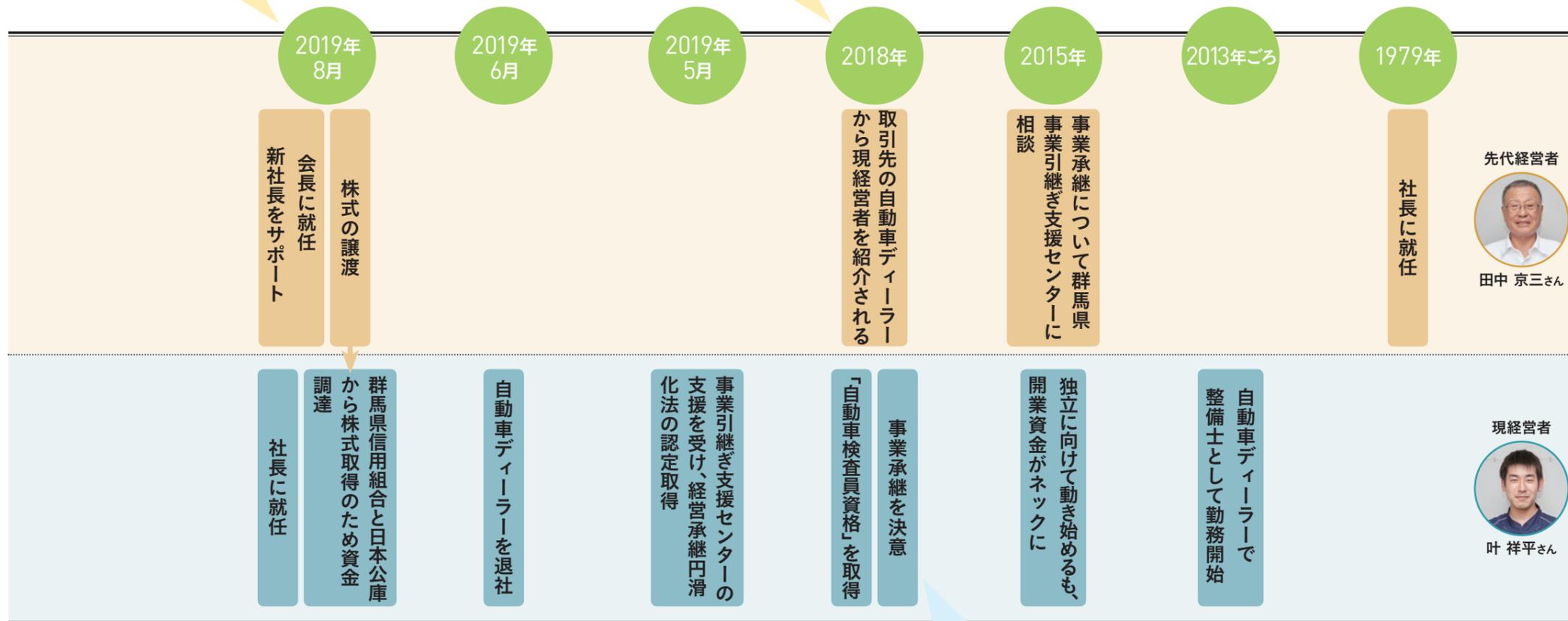


員に余計な期待や不安を抱かせず、すべてが固まっていた。みんなしたのは、日。ただそ度もうちから、うすうす言われて

Close-up

事業承継に対してこだわったことは？

田中:車検を行うために必要な「指定工場」の認証をお客様のために維持することです。そのためには自動車検査員の資格が必要になるのですが、叶さんに聞いたところ「持っています」と一言。ディーラー時代に取得できる資格は可能な限り取っておいたそうで、独立しようという気概がある人は、先を考えて行動ができるのだと感じました。



Close-up

先代のときと変えたことはありますか？

叶:道具に関しては、自分が使い慣れたアイテムを持ち込みました。パソコンは型が少し古かったので、お願いして最新のものを買っていただきましたが、他は特に変えていません。まだまだしっかり使えますので、私の方が慣れるようにしています。以前の勤務先からも仕事がもらえるようになり、受注の幅が広がってきています。努力して仕事の幅を広げていって、設備を新しくできるくらいになりたいと思います!



事業を承継したときの気持ちは？

叶:お客様との密接なつながりのなかで、「クルマのことなら叶に相談しよう」と気軽に来ていただける店で働きたかったので、ようやく理想の働き方ができるという喜びが大きかったです。ただその分、光和自動車興業が築いてきたお客様との信頼ごと引き継げるだろうかという不安もあります。田中さんの技術力や営業力はもちろん、親しみやすい人柄からも多くのことを学び取っていくつもりです。

